

事業番号	113	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。 先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。
	(概要) 舞台公演や企画展、講座(アートスクール)の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施。		

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	62,698	55,089	55,733	51,021	50,710
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
受益者負担額	19,707	20,942	19,707	22,166	16,458	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に 対して)	目的 手段 (いつ、どのような手段を使って)				意図 (対象をどのような状態にしたいか)	事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~				H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価 成果 事業費	評価の説明
		H24目標値							H24目標値		H24目標値		H24目標値		H24目標値				
① ホール公演事業	市内外の住民に	年間を通して、音楽・演劇・伝統芸能などあらゆるジャンルの公演を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	公演40事業、66公演開催	各事業の定員充足率	76.6	80.6	%	過去3年の平均定員充足率	40,000	39,000	37,000	36,000	35,000	A	現行どおり実施していく。公演事業については、文化マスタープランに沿った事業展開をしていきます。
② 企画展示事業	市内外の住民に	年間を通して、さまざまな企画・展示会を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	10事業 57日間開催 延参加者数 20,565人	各事業の延参加者数	16,374	20,565	人	過去3年の事業平均延参加者数	2,200	2,000	2,000	1,800	2,000	A	現行どおり実施していく。企画展示事業については、アートフェスティバルなど実行委員会と連携しながら事業展開をしていきます。
③ アートスクール(講座)事業	市内外の住民に	年間を通して、短期講座から長期講座まであらゆるジャンルを開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	長期講座17回、短期講座24回開催	各事業(講座)の定員充足率	96.8	94.6	%	過去3年の平均定員充足率	3,200	3,000	3,116	2,200	3,304	A	現行どおり実施していく。講座内容は、毎年検討を行い、事業展開をしていきます。
④ アウトリーチ事業	市内の住民に	年間を通して、いろいろな場に出向き催し物を開催することで				市民が芸術にふれ、楽しむ機会を設けるとともに、市民自らの文化芸術活動誘発し、市民文化及び地域文化を活性化の上での基礎体力作りとしたい。	ガレリアコンサート・アートデリバリー等43回開催	各事業の延参加者数	5,314	4,572	人	過去3年の事業平均延参加者数	1,000	800	1,000	600	1,000	B	現行どおり実施していく。ガレリアコンサート・アートデリバリーなど事業内容を検討しながら、行っていきます。

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	事務事業	事業概要
	④ アウトリーチ事業	ガレリアコンサートやアートデリバリーなど、開催内容や場所など検討していきます。		

H25以降新規に実施する事務事業

事業番号	113	事業の名称	文化事業業務	担当部署	部	課
					教育文化部	文化の家

事業の目的・概要	(目的) 住民が芸術文化を気軽に鑑賞及び体験できる機会を提供するため。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	近隣ほとんどの市町が各種さまざまな事業公演等を実施している。 先進地は多様な発信事業を行い、自治体の知名度を高め、観光などに結びつけている。
	(概要) 舞台公演や企画展、講座(アーツスクール)の開催。また、文化の家に来館することが困難な幼児、高齢者、病患者など養老施設・病院・児童館への出張コンサートなどを実施。		

事業期間	事業開始年度	平成10年度	終了(予定)年度	—		
事業の対象 (だれ、何に対して)	市内外の住民					
事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	文化芸術活動が活発に行われる環境を醸成することで、地域住民が主体的に、且つ文化・芸術に触れる機会を多様化し、文化活動のレベルを上げる。しいては、活動そのものが日々の暮らしに溶け込み心の栄養として福祉の増進に繋げていく。					
総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
	うち	62,698	55,089	55,733	51,021	50,710
	一般財源					
	国費・県費					
	地方債					
受益者負担額	19,707	20,942	19,707	22,166	16,458	

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的 (いつ、どのような手段を使って)				事務事業の 実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価				
		4月~	7月~	10月~	1月~			H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	評価	評価の説明	
		手段 (いつ、どのような手段を使って)						H24目標値			H24決算の主な内訳 (単位:千円)	成果 事業費						
⑤ 映像鑑賞会事業	市内外の住民に	年間を通して光のホール等で映像の上映を開催することで				映像鑑賞会 12回開催	過去3年の定員 充足率	47.2	55.4	%	過去3年の平均定員 充足率	1,000	758	500	171	映像借用137 チラシ印刷34	A	現行どおり実施していく。 事業費については、有料公演の開催回数 の増加を予定しているため増加とした。 映画館では行われない監督のトークイ ベント付上映などで企画を進めていく。
⑥																		
⑦																		
⑧																		

事務事 業の改 善内容	事務事業	改善内容	H25以降新 規に実施す る事務事業	事務事業	事業概要